

会議概要

1	審議会名	令和元年度第1回安曇野市まち・ひと・しごと創生総合戦略有識者会議
2	日 時	令和元年8月2日(金) 13時30分から15時16分
3	会 場	安曇野市役所3階共用会議室305
4	出 席 者	木村委員、田村委員、栗田委員、内田委員、荒井委員、丸山(学)委員、山田委員、木下委員、丸山(行)委員、岩本委員、浅川委員
5	市出席者	上條政策部長、野口政策経営課長、児林政策経営課長補佐、企画担当神谷主査、企画担当米山主査
6	公開・非公開の別	公開
7	報道	2名
8	会議概要作成年月日	令和元年8月2日(金)

協 議 事 項 等

1 開会(政策経営課長)

2 委嘱書交付

3 あいさつ(宮澤市長)

4 会長・副会長の選出

※会長に、木村晴壽氏、副会長に、田村浩氏をそれぞれ選出。

5 あいさつ(会長・副会長)

6 協議事項

(1) 安曇野市まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗状況等について

【事務局より資料1、資料2について説明】

(会長) ただいまの説明について委員から質問がありますか。

(委員) 婚活イベントの取り組みに関する質問となりますが、実績として、イベント毎のカップル成立率までは把握できていると説明がありましたが、実際にご結婚された方々の把握はできているのでしょうか。

(政策経営課) 実際に結婚に至るまでは2年、3年とかかることもありますので、カップル成立までの指標となっております。

(委員) 輸出促進の関係で、具体的な輸出品目は、日本酒となっておりますでしょうか。

(政策経営課) 日本酒も扱っておりますが、品目については特段限定しておりません。

(委員) 総務省の制度、地域おこし協力隊による取り組みについても説明がありましたが、安曇野市においては、複数の部署にそれぞれ配属されている状況と伺っておりますので、業務に係わらず協力隊同士の交流も進めてみたらいかがでしょうか。

もちろん、通常業務も大切だと思いますが、地元にはない価値観をもつ方々が、それぞれに目標を持って来られているので、より仕事をしやすい体制整備ができれば、より意義が出てくるのかと考えています。

(政策経営課) 参考にさせていただきます。

(会長) 他はいかがでしょうか。

(委員) 認定こども園に関する指標は、5年間の目標値が横ばいで設定されておりますが、これまでの実績をみると年々上がってきているので、もっと、ストックに目標設定してもよかったのではないかと思います。

延長保育は、ニーズが高まっていますし、「信州自然型保育を受ける児童数」も、認定園が増加する可能性があれば、上向きの目標設定ができるものと考えます。

(政策経営課) 現行戦略策定時はおそらく、現実として子供の数が減っていていることを踏まえ、同じ数値を維持することを目標にしたものと考えます。

目標設定については、今後、第2期を検討していく中で調整を進めさせていただきます。

(委員) 現在、延長保育は、希望すれば受けられるものなののでしょうか。

(委員) 以前、自分の子どもを年度途中からお願いしたことがあるのですが、その際は、ある程度受け入れてきていたという印象でした。

今の詳しい状況は確認していませんが、延長保育よりも、3歳未満児の受け入れの方がちょっと課題となっているように聞いております。

(委員) 子どもの数が減っているとすると、数値的にどうなっているのかよりも、潜在的な希望がどれだけ満たされているのか、といった数値の方が分かりやすいと思います。

特に小さな子どもの受け入れが難しいということでしたら、希望される方がどれだけあって、そのうち何%が受け入れてできているか、といった観点で数字をつくっていくと分かりやすいと思いました。

(会長) 他はいかがでしょうか。

(委員) 「市内企業の就業者数」は順調に推移していますが、この数値は取り組みの成果だけでなく、景気動向によっても大きく左右されてしまうと思うのです。

例えば、安曇野市へ企業誘致でどれだけ新たな雇用を生み出すのか、といった形で、設定の際、切り分けていたのかを確認したいのですが。

(政策経営課) 数値目標を設定した時点では、少なくとも、あづみ野工業団地の拡張は見込んでいたかったため、目標値の積算としては入っていないものと思われれます。

(会長) 他はいかがでしょうか。

(委員) 今回、初めてこの会議に出席させていただきましたが、進捗管理にあたっては、市の中でのまとめと外に向けてのまとめで進捗を整理するとよいのではないかと思います。

具体的には、市内向けの対策と市外向けの対策を区別して資料を作成すると分かりやすいし、新たな対策も検討しやすいのではと考えます。

(会長) 技術的には難しくないと思うのですが、政策経営課の考えはいかがでしょうか。

(政策経営課) 4つの基本目標がありますので、基本目標ごとのグループ分け、取り組みのくり方は今後研究してまいります。

(会長) 他はいかがでしょうか。

(委員) 市内の就業者数も増えておられるということで、補助事業の実施やポータルサイトの運営によるものと思うのですが、例えばポータルサイトでは企業の紹介だけでなく、働き方改革の推進など、外に対して、企業の魅力をPRしていくようなものも事業としてあったのか、確認させていただけますでしょうか。

(政策経営課) ポータルサイトでの企業のご紹介の仕方は確認しないと分かりませんが、就職相談会など、ハローワークさんや近隣自治体と連携し、マッチングを進める中で、それらも含めてPRされているものと考えています。

(会長) 他はいかがでしょうか。

(委員) 今回初めて参加させていただきましたが、計画名称の「戦略」という言葉は会社関係などでは、よく使われる表現なののでしょうか。若干強く感じるのですが。

(会長) 安曇野市独自の表現ではなく、地方創生の関係で、政府が使っているため、一般に広く使われています。

(政策経営課) 法律の条文でも、地方版総合戦略という言い回しになっております。人口減少問題の危機意識を表しているのかもしれませんが。

(会長) 計画の名称に関しては、決まったものではないので、今後、良い案があれば、変更を検討しても良いものと考えます。

(委員) 戦いという言葉は、個人的に強いイメージをもっていると感じますが、生き残らないといけない、やるぞ、という気持ちは伝わってくるように思います。

(会長) 私も、戦略という言葉には強いイメージがあると思っておりますが、だったら、ということで、実際の中身はそうなっているか、それはちょっと違うだろうという印象を持っています。たとえば、先程、委員から意見があったように、例えば、結婚支援の目標について言えば、実際のところ成果を計れる目標設定になっているのか。

第2期策定にあたっては、検討した方がよいと考えます。

(会長) 他はいかがでしょうか。

(委員) 会長のお話と関連するのですが、成果指標もこれだけ数が必要なのかという率直な疑問があります。国の指針としてこのような形となっておりますのでしょうか。

(会長) 国の指針ではありません。

(委員) 現状の評価方法ですと、進捗がよかった、悪かったがシンプルにでますので、例えば、10項目のみとし、そのうちの6項目がダメであった場合、全体として進捗が順調ではない印象をもってしまうといったリスクはあるのかもしれませんが。

(副会長) 資料は、各セクションが施策の推進にあたり取り組むべき方向性を挙げているものと思っています。

目標については、非常にイージーであるもの、または、あまり成果として影響がないようなものもありますし、逆にチャレンジブルな目標も混じってはいる状況ではあります。これは、第2期で見直す必要があると思っているのですが、全体としては、戦略に沿って取り組んでいくことで市の活性化につながるというプロセスになっているものと理解しています。

(会長) 他はいかがでしょうか。

(委員) 婚活のイベントなどは、可能であれば開催前にPRさせていただければと思います。

(政策経営課) 商工会青年部が主となり実施しているので、連絡先など教えていただければ、情報提供させていただきます。

(委員) 労協は県内各地区にあります。長野の方ではよく開催していて、盛況と聞いておりますので、できたら参加させてもらえればと思っております。

(政策経営課) 婚活イベントや結婚相談は、好評となっております。他の地域からも視察にくる状況となっておりますので、また、連絡先など教えていただければと思います。

(会長) 他はいかがでしょうか。

(委員) 例えば、農業関係の目標は新規就農者となっておりますが、実際には、農業を辞めてしまう農家も存在するわけで、統計の取り方としては、全体としてプラスとなっているのか、といった整理もないと評価が難しくなるのではないかと考えます。

(政策経営課) 次期戦略では、そういった観点でも指標の設定を検討してまいります。

(会長) 色んなご意見が出ましたが、現行の項目建ては率直に申し上げて、分かりにくいと思います。目標の達成にこういうものが必要なのか、といったものが多数入っています。

この背景としては、日本創生会議で、このままの人口動態でいくと消滅可能性がある自治体があるという、かなりショッキングなレポートが出されたことがきっかけで、全国一斉に取り組みが進められたことから、仕方がないのかなという部分はあるのですが、ここからは、この5年間の取り組みを踏まえて、安曇野市として本来の目的を果たすためにどのような取り組みをするのか、やっとなんかそういう段階に入るといった印象をもっています。

今後、第2期の策定にあたっては、実績が順調だからといって、そのまま継続してよいのかという点、そして、人口の数だけではなく人口構成の問題もあります。

目標を達成することで、きちんと成果につながるものなのか、この観点で、次期戦略をつくらねばならないと思います。

次第(2)について、政策経営課より説明をお願いします。

(2) 第2期安曇野市まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定について

【事務局より資料3について説明】

(会長) 第2期は、現行の枠組みを引き継ぐとの説明がありましたが、基本目標を引き継ぐということですか。また、総合計画との統合は具体的には、いつになりますでしょうか。

(政策経営課) 内容を一から見直さず、引き継ぐということです。

統合のタイミングは、第2次総合計画後期基本計画の策定のタイミングが候補と考えています。第2期総合戦略は、5か年計画として策定しますが、戦略上、4年目から、その時点の評価結果を踏まえ、必要な見直しを図った上で、総合計画に統合するというイメージです。

(会長) 計画の統合も踏まえて話を進めたいと思いますが、いかがでしょうか。

(委員) 資料中「関係人口」の創出とは具体的には何を示すのでしょうか。

(政策経営課) 明確な定義はありませんが、ここでは、市内に住んでいなくても安曇野市と何らかの関係を持つ方々、そういう意味で関係人口と記載しています。

観光だけでなく、市内で趣味の時間を過ごすなど、安曇野市との関係を何らかの形で保ち続ける、そういったイメージとなります。

(委員) 文言の関係でもう一点となりますが、「まち・ひと・しごと」がひらがな表記となっていますが、何か特別な意味があるのでしょうか。

(政策経営課) 詳しい経緯は分かりませんが、法律の題名にもなっていますし、語呂合わせかと思います。

(会長) 他はいかがでしょうか。

(委員) 第2期は総花的にせず、とありますね。

(会長) 政策経営課としては、次期の指標は、何項目程度にする想定でしょうか。

(政策経営課) 少なくとも半分です。

もう少し申し上げれば、それぞれの数値目標を達成することで何かが変わる、といった点を選定の際に重視することであれば、もっと絞り込まれるものと思います。

(会長) 是非、お願いしたいと思います。3分の1でも良いと思います。

数だけではなく中身についても検討は必要です。

人口減少を食い止めるのであれば、それにちゃんと繋がっていく、そういう意味で評価した結果、取り組みは「順調」という話にならないと、と思います。

今後、本格的にやるためには、せめて数は3分の1ということでお願いしたいと思います。

(委員) 数については賛成です。

以前、農政や観光の計画策定に関らせてもらった際にも、検討の中で玉虫色になっていて、実際今動いているかということ、正直見えにくい部分もあると感じています。

数を絞ることで安曇野市としては、これを確実にやっていく、というものに尖らせていくべきだと思っています。

もう一点、個人的な関心ごととして、働き方改革があります。

労働時間や最低賃金の見直しは、特に中小にとっては厳しい面もあるように思っていて、働き方改革を推進する企業への支援が膨らんでいけば、より特徴ある働き方ができる場ができて、移住にもつながっていくのではないかと、という思いがあります。

実際、今、うちで働いているスタッフも県外からの移住者となりますが、彼は安曇野市が好きで、まず移住を決めて、それから働き先を決めたという経緯があります。

そういう人たちが増えていけば、移住促進にもつながるので、今後、市独自で働きやすい場づくりを支援し、安心して移住ができますよ、といった形がつくっていけないかと思っています。

働き方改革の推進もひとつのキーワードとして議論できたら、と思います。

(会長) 是非、第2期にも反映を。

(政策経営課) 参考にさせていただきます。

(委員) 働き方改革というのは、企業側からみれば、まだまだ、労働者のための、といったイメージかと思いますが、人口減少社会のなかで企業が生き残っていくための戦略でもあるのです。

どれだけ、地域のなかで、県で、取り組みを進めていけるか。

競争だけの問題ではないのですが、市としてどのような支援をしていくのか、そこに対

して労働局でもっている施策、例えば、助成金事業でいえば、最低賃金が上がる際の支援などがあるので、一緒になって広報していくなどできるかと思います。

働き方改革に関わるものも労働局として行っているので連携できるものがあれば含めていただければと思っています。

(政策経営課) 検討させていただきます。

(会長) 他はいかがでしょうか。

(委員) 目標を絞ることについて賛成です。

第2期策定にあたっては第1期の評価が欠かせないと思っています。

評価をした上で、良かった悪かったについて確認して、絞り込んでいくというのが、通常の企業でのやり方となると思うんです。

これまでの労力と資金を無駄にしないためにも、きっちり評価し、それを元に、次のことをこうした会議で検討する。結果を糧に次のステップにつなげるべきというふうに思います。

(会長) 評価をせずに、例えば、うまくいっていない指標は次期戦略から外す、といったやり方は問題があるということですね。

(委員) 現在の指標ですが、結果的なものと手段的なものに分けられると思います。

例えば、婚活の相談は手段的な取り組みと言えらると思います。

指標から手段的な取り組みを外してしまうというのも一つの手かもしれないのですが、進捗状況の評価するとき、全体的な平均値を出すのと同時に、結果的な部分だけをまとめたものも出し、複合的にもっていくのが良いのかと思いました。

もう一点、4つの基本目標のうち、4つめの項目、いきいき～というのがやや目標として分かりにくい。

もうすこし具体的に内容が分かるような項目にした方がよいのかと思います。

(政策経営課) 委員ご指摘のとおり、イメージが漠然としたところもあるかと思いますが、表現を検討したいと思っています。

(委員) おそらく現行の4つ目の目標は、「健康」「安全」「市民」の関係の取り組みとなっていると思いますが、中には関係のないものも入っているとも思えますので確認いただきたいと思っています。

(政策経営課)

指標の設定にあたっては、行政活動としてのアウトプット、成果としてのアウトカムの組み合わせがやはり難しい部分かなと思っています。

仮にアウトプットを設定しても、最終的にアウトカムに繋がらないアウトプットは意味を持たないということになりますので、委員ご指摘のとおり、きちんと成果につながる指標を設定したいと思っています。

(委員) 検討にあたっては、成果が明確に出ないが、無いともいえない項目もあって、指標から外してしまうか悩むものもあると思いますが、残しておいた上で、評価するときには別に考える、というのはあるのかと思います。

(政策経営課) 行政の活動として、総合戦略があってもなくても実施しなくてはいけないものというのがあり、それを戦略で拾うのか否かという点で判断が必要とも考えています。

現時点では、行政として過去から未来にわたって続けていくものは選ばずに、次の5か年で力をいれることで、なんらかの変化が期待できる取り組みに特化したいと考えています。

(委員) 基本目標のところとなりますが、スパッとした分かりやすい目標があるかと思うと、「ひとの流れをつくる」「いきいきと暮らせるまちをつくる」は、若干曖昧な目標に感じます。

目標のもと、具体的に何を取り組むかについては、枝分かれが出てくると思うのですが、ちょっと抽象的となってしまっている印象です。

(政策経営課) 検討させていただきます。

(委員)「ひとの流れをつくる」、は現行の若者と女性の活躍に戻すこともあり得るのでしょうか。

(政策経営課)今のところ、「若者と女性が活躍できるまちをつくる」への戻しは考えていませんが、何か戻した方が良いというご意見があれば検討は可能です。

「ひとの流れをつくる」については、例えば具体的な文言として、移住定住の促進などが思い浮かぶところなので今後検討してまいります。

(副会長)目標設定にあたっては、各セクションから出てきたものに対し、このような会議で意見を求めながら、効果が高いと考えられるものにウエイト付けしていくことが重要と考えます。

難しいのかもしれませんが、ウエイト付けを明確にした上で、他部局とも連携で、できないところはサポートする、そのような行政の組織運営ができればと考えます。

総合計画との統合もあるので、次期策定にあたっては、そのようなところも加味して進めていったらどうかと思います。

(委員)質問ですが、以前、市で産業振興条例を制定したと思いますが、総合戦略との関係についてはどのようなものになる想定でしょうか。

(政策部長)産業振興条例は、数年前から関係団体の皆さんなどからご意見をいただきながら検討を進めているところとなります。

結論が出た段階で、総合戦略や後期基本計画との調整を図るということになるかと思えます。

(委員)承知しました。何かに取り組む際に、組織などは連携しながら進めることが大事だと思っています。

(会長)最後に確認となりますが、今後、総合計画と統合することとなった場合、この会議の意見はどのように反映されていくのか。

総合計画の策定は、別の会議で進められますので、ここでの意見が埋没されないか確認したいのです。

(政策経営課)総合計画のなかに総合戦略を溶かしてしまうのではなく、組み込むことを考えています。

(会長)統合にあたっては、KPIも担保されるのでしょうか。

(政策経営課)その予定です。

(会長)そういうことであれば、一つお願いなのですが、KPIは数をいくつにするのではなく、中身を厳選していくことが必要と考えています。

各部署から出てきたものを、ただ並べるのではなく、目標に結びつかないものについてはストップをかけていただきたい。

内部でのフィルターをかけていただきたいと考えております。

長時間になりましたが協議事項は以上となります。

7 事務連絡(政策経営課長)

8 政策部長あいさつ

9 閉会(副会長)

以上